

# 下水道に関する協議書

令和 年 月 日

志木市長様

事業者 住所  
氏名  
電話

印

下記の事業について、下水道に関し協議願いたく申請します。

## 記

- |   |       |                                     |
|---|-------|-------------------------------------|
| 1 | 名称    |                                     |
| 2 | 場所    | 志木市                                 |
| 3 | 工期    | 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日                |
| 4 | 規模    |                                     |
|   |       | 敷地面積 $\text{m}^2$ 屋根面積 $\text{m}^2$ |
| 5 | 排水予定日 | 令和 年 月 日                            |
| 6 | 排水量   | 汚水量 $\text{m}^3/\text{sec}$         |
| 7 | 連絡先   |                                     |

# 下水道に関する協議書

記入例

令和 年 月 日

志木市長様

事業者 住所 志木市中宗岡1-1-1  
氏名 志木太郎 印  
電話 048(473)1111

下記の事業について、下水道に関し協議願いたく申請します。

## 記

- 名称 (仮称) 志木マンション
- 場所 志木市 中宗岡1-1111-1
- 工期 令和 2年 4月 1日 から 令和 3年 3月31日
- 規模  
敷地面積 750.00m<sup>2</sup> 屋根面積 450.0m<sup>2</sup>
- 排水予定日 令和 3年 3月31日
- 排水量 汚水量 0.0001731 m<sup>3</sup>/sec
- 連絡先 事前協議者の連絡先を記入

# 念 書

令和 年 月 日

志木市長様

事業者 住所  
氏名 印  
電話

設計者 住所  
氏名 印  
電話

宅地等の開発及び中高層建築物の建築に関する指導要綱により協議した、下水道に関する件については、協議内容どおり施工いたします。

なお、協議内容に変更が生じた場合は、再協議いたします。

また、建築工事に着手した場合は、速やかに志木市指定下水道工事店と共に下水道施設課と打合せいたします。

# 事前協議に関する事項

## 1 提出書類

- ( 1 ) 下水道に関する協議書（1部提出・1部控え）A4版で2部提出
- ( 2 ) 念 書
- ( 3 ) 案 内 図
- ( 4 ) 公図の写し・土地の求積図
- ( 5 ) 土地利用計画図
- ( 6 ) 汚水量の計算式
- ( 7 ) 排水平面図（污水管・雨水管）
- ( 8 ) 構 造 図
- ( 9 ) 給 水 図
- (10) 間取り平面図
- (11) 立 面 図
- (12) 新規に下水道本管へ接続する場合又は、水路へ放流する場合は、縦断図
- (13) 水路に面する部分の断面図・詳細図

## 2 汚水量の算出方法

- ( 1 ) 共同住宅            1世帯当り      3.5人、1人1日当り    285L
  - ( 2 ) ワンルームマンション    1世帯当り      2.0人、1人1日当り    285L
  - ( 3 ) 店 舗                1㎡ 当り        0.3人、1人1日当り    285L
  - ( 4 ) 倉庫・事務所        1㎡ 当り        0.1人、1人1日当り    285L
- （作業人員がわかる場合は、作業人員の1/2人で計算する。）

### ( 5 ) 『計算例』

15世帯の共同住宅の場合

$$15 \text{ 世帯} \times 3.5 \text{ 人} = 52.5 \text{ 人}$$

$$52.5 \text{ 人} \times 285 \text{ L} = 14,962.5 \text{ L}$$

$$14,962.5 \text{ L} \div 1,000 = 14.9625 \text{ m}^3$$

$$14.9625 \text{ m}^3 \div 86,400 \text{ 秒} = 0.00017317 \text{ m}^3/\text{sec}$$

### 3 排水平面図

- (1) 排水管の位置、ますの大きさ、深さ、管延長に、勾配、管径等の記入する。
- (2) 公設汚水ますは下記のとおりとし、取出し管はφ 150mm 管で接続する

枘の内径 (mm)	ますの深さ	備 考
φ 200	1. 2m程度	
φ 300	1. 3m程度	
φ 750以上	1. 3m以上	転落防止・梯子設置

- (3) 取出しを行う際は、断面図を添付する。
- (4) 汚水管ますは密閉蓋とし、ますの深さに応じて点検できる内径を確保する。  
また、コンクリートますを使用する際には、インバート（管上まで）若しくは泥溜めを設置する。
- (5) 排水管の土被り 宅地内 20cm以上 道路区域内 1. 2m以上
- (6) ますの設置箇所 管径の120倍を超えない範囲内
- (7) 取出し替えをする場合は、本管（枝付管）の所でキャップし、撤去すること。

### 4 開発道路区域内の排水管施工

- (1) 管径φ 200mm 以上、勾配は10‰、人孔間は管径の120倍以内とする。
- (2) 道路内の最低土被りは1. 2m 以上で、人孔（ます）は転落防止と梯子を設置する。
- (3) インバートは管上まで施工する。
- (4) 縦断図、マンホールの構造図等を添付する。
- (5) 道路に取出しをする際は、本管に割込み人孔を設置し、公道境界より1m以内の位置に1号人孔を設置する。

### 5 上記以外については、下水道施設課と協議すること。